

建築学科のカリキュラムについて

当学科は2004年度より現代の業界・社会のニーズに合うようにカリキュラムの大幅な変更を行い、JABEE（日本技術者教育認定機構）認定教育プログラム申請を目指した設計・計画コースと構造コース、ならびに非申請の総合コースの三つのコースからなるカリキュラムを構築しました。さらに、2005年度から2008年度にかけてJABEE申請を行うことを前提にカリキュラムの整備を図りました。そして2008年度にJABEE認定審査を受け、設計・計画コースと構造コースがJABEE認定教育プログラムとして認定されました。2009年度は科目の学年配置を一部変更しました。2010年度はJABEE認定基準の改定ならびに卒業単位に関する学則の改定に伴い、カリキュラムを一部見直しました。また、2010年度改定JABEE認定基準では自己学習時間をシステムとして確保することが要求されていることから、シラバスを一部見直しました。自己学習時間とは、授業の予習や復習、さらに教員が効果的な学習活動のために指示する宿題・実験レポート作成、調査・研究活動などの時間を指します。自己学習時間を確保する取り組みは科目ごとに異なりますので、シラバスで確認してください。2011年度は15回授業実施に伴う変更と1科目の新設、ならびに2科目の名称変更を実施しました。2012年度には、JABEEコースへの進級条件の一部の緩和を行いました。2013年度には、建築キャリアデザインの開講をはじめ名称変更1、年次移動4のカリキュラム改正を行いました。

また2014年度には、設計・計画コースと構造コースの学習・教育到達目標を改訂し、新たにC-5 チームで仕事をするための力をつけ加え、2015年度には、2科目の開講時期の変更と1科目の必修・選択の変更のカリキュラム改正を行いました。

2016年度以降の入学生を対象として以下のカリキュラム改正を行いました。

- (1) 「意匠論」を「意匠論Ⅰ」と名称変更し、必修科目として2年前期へ移動。
- (2) 「建築計画Ⅲ」を「意匠論Ⅱ」と名称変更し、総合および設計・計画コースの必修科目とする。
- (3) 「集合住宅計画」を「集住建築論」へ名称変更。
- (4) 「日本建築史」を3年後期へ移動。

さらに2017年度には、BIMをはじめとする最新の情報技術に対応するために「建築情報」を新設しました。2019年度には、4年の必修科目「卒業計画」の準備として3年後期に「建築学特別演習」を新設しました。そして、2020年度は、「総合設計Ⅱ」を全コース共通の選択科目に変更した他、2科目の名称を変更しました。

各コースとも時間割は共通ですが、卒業要件が異なります。以下に、各コースの詳細について述べます。

各コースの詳細

1. 総合コースの詳細について

総合コースは、一級建築士の取得を目標に、総合的な視野で建築業界において幅広く活躍できる人材の育成を目標としています。

卒業に必要な総単位数は130単位で全コース共通ですが、このコースでは、設計・計画コースに比較して、建築設計の必修科目を少なくし、ランドスケープデザイン論、地域計画など地域づくりのための必修科目を多くしています。また、構造コースに比較して、構造の応用的な必修科目を少なくし、構造の基礎的な必修科目を中心に学べるようにしています。より学生の個性を尊重し、建築とその関連分野を地域、環境、景観、歴史、文化、生活などに渡って幅広く、自主的に学べるように配慮したプログラムです。

(1) このコースの教育目的、学習・教育到達目標

このコースの教育目的は次の通りです。「建築技術者としての十分な基礎学力を身に付け、高度で実践的な専門性を獲得すると同時に、調和のとれた教養を有する人格の形成をはかり、社会において指導力を発揮して、幅広く活躍・貢献できる人材を地域と連携して育成することをめざす。」

また、学習・教育到達目標は次の通りです。

1. 社会貢献・地域連携

社会において指導力を発揮して幅広く活躍・貢献できる人材を地域と連携して育成する。

2. 基礎学力の充実

建築技術者としての十分な基礎学力を身に付ける。

3. 高度で実践的な専門性と調和のとれた教養を有する人格の形成

高度で実践的な専門性を獲得すると同時に、調和のとれた教養を有する人格の形成をはかる。

(2) このコースへの進級について

学科履修規程6条の3に定める3年関門の条件を満たしていれば、このコースへの進級が可能となります。

(3) このコースの修了要件（卒業要件）について

このコースを修了すなわち卒業するためには、学則第34条あるいは学科履修規程第2条に定めるように、共通教育科目の総合教養科目12単位以上、外国語科目12単位以上、保健体育科目2単位、合計26単位以上、工学共通科目の必修12単位、選択6単位以上、専門教育科目の必修77単位*1、選択9単位以上*2、総計130単位以上を修得しなければ

ばなりません。(※1：2010～2014年度生は71単位、2015年度生は74単位、2016～2018年度生は76単位、※2：2010～2014年度生は15単位、2015年度生は12単位、2016～2018年度生は10単位)

成績考査規程第12条(1)に従って、第4年次以上の卒業見込み者にして、既得単位数と新たに登録した単位数との和が卒業に必要な単位数に達し、かつ、その必要単位数のうち8単位以内の不合格点を得た者(後期の追試験の結果、不合格点を得た者を除く。)に対しては、本人の願い出により当該年度に登録し不合格となった科目について、学年末に再試験を行うことがあります。

(4) 編・転・学士入学時の単位認定について

他の高等教育機関等で取得した単位の換算は、本学教務委員会が定める基準によって行われます。取得した専門教育科目の単位は、その科目の学習・教育目標が、本学科シラバスに記載している専門教育科目の学習・教育到達目標に相当し、しかも達成目標を満たしている場合に認定されます。

2. 設計・計画コースの詳細について

設計・計画コースは2008年度に JABEE 認定教育プログラムに認定されたコースです。このコースは建築設計・計画のエキスパートを目指すコースであり、設計・計画に特化した教育が受けられます。

卒業に必要な総単位数は130単位で全コース共通ですが、他のコースに比較して建築設計の必修科目を多くし、構造系の必修科目を少なくしています。

(1) このコースの教育目的、学習・教育到達目標

このコースの教育目的は次の通りです。「建築技術者としての十分な基礎学力を身に付け、高度で実践的な専門性を獲得すると同時に、調和のとれた教養を有する人格の形成をはかり、社会において指導力を発揮して、幅広く活躍・貢献できる人材を地域と連携して育成することをめざす。」

また、学習・教育到達目標は以下の通りです。総合コースに比較して、より詳しい学習・教育到達目標を設定しています。

A. 社会貢献・地域連携

社会において指導力を発揮して幅広く活躍・貢献できる人材を地域と連携して育成する。

A-1 地域との連携：地球環境問題をはじめ、地域の伝統的な風土・景観・文化の問題を踏まえて計画・設計する能力を育成する。

A-2 技術者倫理：建築技術者の地球環境、社会や地域に対する責任を理解する。

B. 基礎学力の充実

建築技術者としての十分な基礎学力を身に付ける。

- B - 1 工学の基礎となる力：工学の基礎となる数学や自然科学の基礎学力、情報処理能力を身につける。
- B - 2 建築の基礎となる力：造形・空間創造のための基礎的なデザイン能力・知識、建築計画・建築環境の基礎知識、建築の構造・材料に関する基礎知識を獲得する。
- B - 3 多様な文化を理解する基礎となる力：建築と関連する人文・社会文化系の基礎的な教養を獲得し、国際的な活動に必要なコミュニケーション能力を獲得する。

C. 高度で実践的な専門性と調和のとれた教養を有する人格の形成

高度で実践的な専門性を獲得すると同時に、調和のとれた教養を有する人格の形成をはかる。

- C - 1 建築における分野別の専門的な知識を使いこなす力：建築計画・設計に関する応用的な知識・能力を獲得する。具体的には、①敷地などの与条件を理解し、都市・歴史・文化などを考慮しつつ、社会的に有効な提案をおこなう能力、②建築の構成要素の性能と特長を理解し、これを設計に应用する能力、③機能性・象徴性などの要素を考慮しつつ、提案に沿った空間構成を展開する能力、を獲得することを目的とする。また、構造、環境、施工に関して必要な応用的知識・能力を獲得することを目的とする。
- C - 2 建築における複数の分野を横断的に総合する力：都市計画、歴史、芸術などの諸領域と有機的に関連して、建築物を計画・設計する能力および表現技術、防災や外力、材料性能に関する知識を統合し、建築構造物を計画・設計する能力を育成する。
- C - 3 建築において自律的に計画を立案・制御・推進する力：演習や実験を通して問題を発見し、必要な情報を自主的かつ継続的に収集分析する行動能力を養成する。
- C - 4 建築において制約条件に基づいて計画的に立案・制御・推進する力：演習や実験を通して問題発見から解決に至るプロセスを計画的に推進する能力を養成する。
- C - 5 チームで仕事をするための力：他者と協働する際に自己のなすべき行動を的確に判断し、実行する能力および、協働する際に他者の取るべき行動を判断し、働きかける能力を養成する。

以上のような学習・教育到達目標に対して開講されている授業科目は表1（あるいは表3）の通りです。なお、それぞれの科目は複数の学習・教育到達目標を持っており、必ずしも表1（あるいは表3）に分類する目標のみに限定されるものではありません。

(2) このコースへの進級について

学科履修規程6条の3に定める3年関門の条件を満たし、かつ、2年次までの必修科目の

内、未修得のものが1科目（2単位）以内であることをこのコースへの進級条件とします。

以上の条件を全て満たし、2年次終了時（掲示によって通知する期日）に所定の提出先に、設計・計画コースへの進級希望票を提出した者が設計・計画コースへコース分けされます。ただし、希望者が20名を超えた場合には、2年次までの成績（平均点）を選考基準として選抜します。卒業要件はコース毎に異なりますので、コースの特徴と自分の適性をよく見極めて希望してください。進級後のコース変更は認められませんので十分注意してください。

(3) このコースの修了要件（卒業要件）について

このコースを修了すなわち卒業するためには、学則第34条あるいは学科履修規程第2条に定めるように、共通教育科目の総合教養科目12単位以上、外国語科目12単位以上、保健体育科目2単位、合計26単位以上、工学共通科目の必修12単位、選択6単位以上、専門教育科目の必修76単位*3、選択10単位以上*4、総計130単位以上を修得しなければなりません。（*3：2010～2015年度生は76単位、2016～2018年度生は78単位、2019年度は79単位、*4：2010～2015年度生は10単位、2016～2018年度生は8単位、2019年度は7単位）

成績考査規程第12条(1)に従って、第4年次以上の卒業見込み者にして、既得単位数と新たに登録した単位数との和が卒業に必要な単位数に達し、かつ、その必要単位数のうち8単位以内の不合格点を得た者（後期の追試験の結果、不合格点を得た者を除く。）に対しては、本人の願い出により当該年度に登録し不合格となった科目について、学年末に再試験を行うことがあります。

(4) 編・転・学士入学時の単位認定について

他の高等教育機関等で取得した単位の換算は、本学教務委員会が定める基準によって行われます。取得した専門教育科目の単位は、その科目の学習・教育到達目標が、本学科シラバスに記載している専門教育科目の学習・教育到達目標に相当し、しかも達成目標を満たしている場合に認定されます。

3. 構造コースの詳細について

構造コースは2008年度に JABEE 認定教育プログラムに認定されたコースです。このコースは構造構造のエキスパートになるためのコースであり、構造理論・計画・設計に特化した教育が受けられます。

卒業に必要な総単位数は130単位で全コース共通ですが、構造コースでは、他のコースに比較して構造系の基礎および応用的な必修科目を多くし、建築設計の必修科目を少なくしています。

(1) このコースの教育目的、学習・教育到達目標

このコースの教育理念は次の通りです。「建築技術者としての十分な基礎学力を身に付け、高度で実践的な専門性を獲得すると同時に、調和のとれた教養を有する人格の形成をはかり、社会において指導力を発揮して、幅広く活躍・貢献できる人材を地域と連携して育成することをめざす。」

また、学習・教育到達目標は以下の通りです。総合コースに比較して、より詳しい学習・教育到達目標を設定しています。

A. 社会貢献・地域連携

社会において指導力を発揮して幅広く活躍・貢献できる人材を地域と連携して育成する。

A - 1 地域との連携：地球環境問題をはじめ、地域の伝統的な風土・景観・文化の問題を踏まえて計画・設計する能力を育成する。

A - 2 技術者倫理：建築技術者の地球環境、社会や地域に対する責任を理解する。

B. 基礎学力の充実

建築技術者としての十分な基礎学力を身に付ける。

B - 1 工学の基礎となる力：工学の基礎となる数学や自然科学の基礎学力、情報処理能力を身につける。

B - 2 建築の基礎となる力：造形・空間創造のための基礎的なデザイン能力・知識、建築計画・建築環境の基礎知識、建築の構造・材料に関する基礎知識を獲得する。

B - 3 多様な文化を理解する基礎となる力：建築と関連する人文・社会文化系の基礎的な教養を獲得し、国際的な活動に必要なコミュニケーション能力を獲得する。

C. 高度で実践的な専門性と調和のとれた教養を有する人格の形成

高度で実践的な専門性を獲得すると同時に、調和のとれた教養を有する人格の形成をはかる。

C - 1 建築における分野別の専門的な知識を使いこなす力：構造設計・計画に関する応用的な知識・能力を獲得する。具体的には、①要求される建築空間の特質と性能を具現化するための構造計画を展開し、立案する能力、②既存の技術や新技術を設計に応用する能力、③安全性、機能性、造形性、経済性、施工性、耐久性、耐火性などの諸要因の合理的な調和を図ることが可能となる構造を設計する能力、を獲得することを目的とする。また、設計・計画、環境、施工に関して必要な応用的知識・能力を獲得することを目的とする。

C - 2 建築における複数の分野を横断的に総合する力：都市計画、歴史、芸術などの諸領域と有機的に関連して、建築物を計画・設計する能力および表現技術、防災や外力、材料性能に関する知識を統合し、建築構造物を計画・設計する能力を育成する。

- C - 3 建築において自律的に計画を立案・制御・推進する力：演習や実験を通して問題を発見し、必要な情報を自主的かつ継続的に収集分析する行動能力を養成する。
- C - 4 建築において制約条件に基づいて計画的に立案・制御・推進する力：演習や実験を通して問題発見から解決に至るプロセスを計画的に推進する能力を養成する。
- C - 5 チームで仕事をするための力：他者と協働する際に自己のなすべき行動を的確に判断し、実行する能力および、協働する際に他者のとるべき行動を判断し、働きかける能力を養成する。

以上のような学習・教育到達目標に対して開講されている授業科目は表2（あるいは表4）の通りです。なお、それぞれの科目は複数の学習・教育到達目標を持っており、必ずしも表2（あるいは表4）に分類する目標のみに限定されるものではありません。

(2) このコースへの進級について

学科履修規程6条の3に定める3年開門の条件を満たし、かつ、2年次までの必修科目の内、未修得のものが1科目（2単位）以内であることをこのコースへの進級条件とします。

以上の条件を全て満たし、2年次終了時（掲示によって通知する期日）に所定の提出先に、構造コースへの進級希望票を提出した者が構造コースへコース分けされます。ただし、希望者が20名を超えた場合には、2年次までの成績（平均点）を選考基準として選抜します。卒業要件はコース毎に異なりますので、コースの特徴と自分の適性をよく見極めて希望してください。進級後のコース変更は認められませんので十分注意してください。

(3) このコースの修了要件（卒業要件）について

このコースを修了すなわち卒業するためには、学則第34条あるいは学科履修規程第2条に定めるように、共通教育科目の総合教養科目12単位以上、外国語科目12単位以上、保健体育科目2単位、合計26単位以上、工学共通科目の必修12単位、選択6単位以上、専門教育科目の必修82単位*5、選択4単位以上*6、総計130単位以上を修得しなければなりません。（*5：2010～2015年度生は79単位、2016～2018年度生は81単位、*6：2010～2015年度生は7単位、2016～2018年度生は5単位）

成績考査規程第12条(1)に従って、第4年次以上の卒業見込み者にして、既得単位数と新たに登録した単位数との和が卒業に必要な単位数に達し、しかもその必要単位数のうち8単位以内の不合格点を得た者（後期の追試験の結果、不合格点を得た者を除く。）に対しては、本人の願い出により当該年度に登録し不合格となった科目について、学年末に再試験を行うことがあります。

(4) 編・転・学士入学時の単位認定について

他の高等教育機関等で取得した単位の換算は、本学教務委員会が定める基準によって行われます。取得した専門教育科目の単位は、その科目の学習・教育到達目標が、本学科シラバスに記載している専門教育科目の学習・教育到達目標に相当し、しかも達成目標を満たしている場合に認定されます。

年次進行に伴うチェックポイント

- 1年次
 - ・カリキュラム、科目登録など教務関係事項の理解
 - ・「大学での目標と達成度の記録簿」の受け取りと記入開始
 - ・アドバイザー教員の決定
 - ・4年間の履修計画
- 2年次
 - ・3年次進級関門のクリアー（学科履修規定第6条の3）
2010年度以降入学生60単位
 - ・2年次終了時、コース分け希望票の提出
- 3年次
 - ・コース分け決定と自分のコースに沿った科目登録
 - ・4年次進級関門のクリアー（学科履修規定第6条の3）
2010年度以降入学生100単位
 - ・卒業計画の研究室配属決定
- 4年次
 - ・卒業計画の作成
 - ・卒業要件のクリアー（学則第34条の7および学則履修規定第2条の7）
2010年度以降入学生130単位
 - ・「大学での目標と達成度の記録簿」の完成と提出

(2020年度入学生)

表1 各授業科目の学習・教育到達目標に対する関与の程度 (設計・計画コース)

Table with 12 columns for degree of involvement (A-1 to C-5) and rows for various subjects like 共通教育科目, 総合教養科目, 第一外国語科目, etc.

◎印は、学習・教育到達目標への関与の程度が大きい、○印は、ある程度関与していることを示す。()内は今年度休講

表2 各授業科目の学習・教育到達目標に対する関与の程度 (構造コース)

Table with 12 columns for degree of involvement (A-1 to C-5) and rows for various subjects like 共通教育科目, 総合教養科目, 第一外国語科目, etc.

◎印は、学習・教育到達目標への関与の程度が大きい、○印は、ある程度関与していることを示す。()内は今年度休講

(2019年度入学生)

表1 各授業科目の学習・教育到達目標に対する関与の程度 (設計・計画コース)

Table with columns: 授業科目名, 学年, 学習・教育到達目標に対する関与の程度 (A-1 to C-5). Lists various subjects like '共通教育科目', '総合教養科目', and '建築学概論'.

◎印は、学習・教育到達目標への関与の程度が大きい、○印は、ある程度関与していることを示す。()内は今年度休講

表2 各授業科目の学習・教育到達目標に対する関与の程度 (構造コース)

Table with columns: 授業科目名, 学年, 学習・教育到達目標に対する関与の程度 (A-1 to C-5). Lists various subjects like '共通教育科目', '総合教養科目', and '建築学概論'.

◎印は、学習・教育到達目標への関与の程度が大きい、○印は、ある程度関与していることを示す。()内は今年度休講

(2010-2015年度入学生)

表3 各授業科目の学習・教育到達目標に対する関与の程度 (設計・計画コース)

Table with columns for Course Name, Year, and Learning/Education Objective Impact (A-1 to C-5). Rows include General Education, Language, Science, and specialized Architecture courses.

◎印は、学習・教育到達目標への関与の程度が大きい、○印は、ある程度関与していることを示す。

- ()内は年度休講
*1 2011～2015年度入学生は意匠論 *7 2011～2013年度入学生は2年次
*2 2011～2015年度入学生は集合住宅計画 *8 2013年度入学以降は登録可で2013～2014年度入学生は1年次

表4 各授業科目の学習・教育到達目標に対する関与の程度 (構造コース)

Table with columns for Course Name, Year, and Learning/Education Objective Impact (A-1 to C-5). Rows include General Education, Language, Science, and specialized Architecture courses.

◎印は、学習・教育到達目標への関与の程度が大きい、○印は、ある程度関与していることを示す。

- ()内は年度休講
*1 2011～2015年度入学生は意匠論 *7 2013年度入学以降登録可で2013～2014年度入学生は1年次
*2 2011～2015年度入学生は集合住宅計画 *8 2011年度入学生は情報処Ⅱ

		1年次		2年次		3年次		4年次	
専門教育科目	建築学概	構造・材料	建築構造概論	構造力学の基礎Ⅰ 構造力学演習Ⅰ	構造力学の基礎Ⅱ 構造力学演習Ⅱ	構造力学の基礎Ⅲ	構造計画 骨組の構造力学 コンピュータ構造解析法 鉄筋コンクリート構造の基礎 鉄骨構造の基礎 木質構造 建築材料性能計画	建築基礎構造 地震工学 建築構造設計演習 鉄筋コンクリート構造の設計法 鉄骨構造の設計法 建築構造演習・実験 建築材料実験	建築防災
		歴史・意匠		造形実習Ⅰ	造形実習Ⅱ 意匠論Ⅰ	西洋建築史	近代建築史 意匠論Ⅱ	日本建築史	
		計画・設計	建築デザイン基礎Ⅰ	建築デザイン基礎Ⅱ 住宅計画	建築設計Ⅰ 建築計画Ⅰ	建築設計Ⅱ 建築計画Ⅱ	建築設計Ⅲ 都市計画	総合設計Ⅰ ランドスケープデザイン論 集住建築論 都市環境管理学	総合設計Ⅱ 地域計画
		環境		建築環境学概論	建築光環境	建築環境学基礎	建築音環境 空調調和設備	建築衛生設備	
		卒業計画	情報処理演習		建築キャリアデザイン	建築情報 建築CAD プログラミング基礎 測量実習	建築技術史 建築法規	建築学特別演習 建築実務演習 建築生産管理	技術者倫理
工学共通科目	基礎	図学Ⅰ	図学Ⅱ		統計				
		微分積分Ⅰ	微分積分Ⅱ		力学C				
総合教養科目	基礎	行列と行列式Ⅰ	行列と行列式Ⅱ		物理学実験				
		力学A	力学B		化学実験				
外国語科目	基礎	化学A	化学B				総合工業論		
		哲学A/B 論理学A/B 倫理学A/B 宗教学A/B 日本史A/B 東洋史A/B 西洋史A/B 日本文学A/B 中国文学A/B 西洋文学A/B 芸術A/B 日本教育史A/B	法学A/B 日本国憲法 政治学A/B 経済学A/B 商学A/B 社会学A/B 教育論A/B 教育原論 地理学A/B 心理学A/B 文化人類学A/B	地球圏科学入門 新しい地球観 ミクロの生物化学 マクロの生物化学 自然科学入門 自然科学と人間 自然地理学	地球環境 生命・健康と医療 国際化と日本 科学・技術・情報と社会 文化と教育 現代を生きる	(福大生のためのキャリアデザイン) アカデミックスキルゼミⅠ、Ⅱ (福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか)			
外国語科目		フレッシュマンイングリッシュⅠ、Ⅲ	フレッシュマンイングリッシュⅡ、Ⅳ	インターメディアイトイングリッシュⅠ	インターメディアイトイングリッシュⅡ	インターメディアイトイングリッシュⅢ	インターメディアイトイングリッシュⅣ		
科体保 目育健		第二外国語Ⅰ	第二外国語Ⅱ						
		生涯スポーツ演習Ⅰ、Ⅱ							

建築学科の科目の関連表(令和2年度入学生:総合コース)

 必修
 選択必修
 選択

		1年次	2年次	3年次	4年次	
専門教育科目	構造・材料	建築構造概論 → 構造力学の基礎Ⅰ 構造力学演習Ⅰ	構造力学の基礎Ⅱ → 構造力学の基礎Ⅲ 構造力学演習Ⅱ	構造計画 → 骨組の構造力学 → コンピュータ構造解析法 → 鉄筋コンクリート構造の基礎 → 鉄骨構造の基礎 → 木質構造 → 建築材料性能計画	建築基礎構造 → 地震工学 → 建築構造設計演習 → 鉄筋コンクリート構造の設計法 → 鉄骨構造の設計法 → 建築構造演習・実験 → 建築材料実験	建築防災
	歴史・意匠	造形実習Ⅰ	造形実習Ⅱ → 西洋建築史 → 意匠論Ⅰ	近代建築史 → 意匠論Ⅱ	日本建築史	
	計画・設計	建築デザイン基礎Ⅰ → 建築デザイン基礎Ⅱ 住宅計画	建築設計Ⅰ → 建築設計Ⅱ 建築計画Ⅰ → 建築計画Ⅱ	建築設計Ⅲ → 都市計画	総合設計Ⅰ → ランドスケープデザイン論 → 集住建築論 → 都市環境管理学	総合設計Ⅱ → 地域計画
	環境	建築環境学概論	建築光環境 → 建築環境学基礎	建築音環境 → 空気調和設備	建築衛生設備	
	建築学概論	情報処理演習	建築情報 → 建築CAD → プログラミング基礎 → 建築キャリアデザイン → 測量実習	建築技術史 → 建築法規	建築学特別演習 → 建築実務演習 → 建築生産管理	技術者倫理
工学共通科目	基礎	図学Ⅰ → 微分積分Ⅰ → 行列と行列式Ⅰ → 力学A → 化学A	図学Ⅱ → 微分積分Ⅱ → 行列と行列式Ⅱ → 力学B → 化学B	統計 → 力学C → 物理学実験 → 化学実験	総合工業論	
		哲学A/B 論理学A/B 倫理学A/B 宗教学A/B 日本史A/B 東洋史A/B 西洋史A/B 日本文学A/B 中国文学A/B 西洋文学A/B 芸術A/B 日本教育史A/B 法学A/B 日本国憲法 政治学A/B 経済学A/B 商学A/B 社会学A/B 教育論A/B 教育原論 地理学A/B 心理学A/B 文化人類学A/B 地球圏科学入門 新しい地球観 ミクロの生物化学 マクロの生物化学 自然科学入門 自然科学と人間 自然地理学 地球環境 生命・健康と医療 国際化と日本 科学・技術・情報と社会 文化と教育 現代を生きる (福大生のためのキャリアデザイン) アカデミックスキルゼミⅠ、Ⅱ (福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか)				
外国語科目		フレッシュマンイングリッシュⅠ、Ⅲ → フレッシュマンイングリッシュⅡ、Ⅳ 第二外国語Ⅰ	インターメディアイトイングリッシュⅠ → インターメディアイトイングリッシュⅡ 第二外国語Ⅱ	インターメディアイトイングリッシュⅢ → インターメディアイトイングリッシュⅣ		
科体保 目育健		生涯スポーツ演習Ⅰ、Ⅱ				

建築学科の科目の関連表(令和2年度入学生:設計・計画コース)

 必修
 選択必修
 選択

		1年次		2年次		3年次		4年次	
専門教育科目	構造・材料	建築構造概論	構造力学の基礎Ⅰ 構造力学演習Ⅰ	構造力学の基礎Ⅱ 構造力学演習Ⅱ	構造力学の基礎Ⅲ 建築構法	構造計画 骨組の構造力学 コンピュータ構造解析法 鉄筋コンクリート構造の基礎 鉄骨構造の基礎 木質構造	建築基礎構造 地震工学 建築構造設計演習 鉄筋コンクリート構造の設計法 鉄骨構造の設計法 建築構造演習・実験	建築防災	
	歴史・意匠		造形実習Ⅰ	造形実習Ⅱ 意匠論Ⅰ	西洋建築史	近代建築史 意匠論Ⅱ	日本建築史		
	計画・設計	建築デザイン基礎Ⅰ	建築デザイン基礎Ⅱ 住宅計画	建築設計Ⅰ 建築計画Ⅰ	建築設計Ⅱ 建築計画Ⅱ	建築設計Ⅲ 都市計画	総合設計Ⅰ ランドスケープデザイン論 集住建築論 都市環境管理学	総合設計Ⅱ 地域計画	
	環境		建築環境学概論	建築光環境	建築環境学基礎	建築音環境 空調調和設備	建築衛生設備		
	基礎	情報処理演習		建築キャリアデザイン	建築情報 建築CAD プログラミング基礎 測量実習	建築技術史 建築法規	建築学特別演習 建築実務演習 建築生産管理	技術者倫理	卒業計画
工学共通科目	基礎	図学Ⅰ 微分積分Ⅰ 行列と行列式Ⅰ 力学A 化学A	図学Ⅱ 微分積分Ⅱ 行列と行列式Ⅱ 力学B 化学B	統計 力学C 物理学実験 化学実験		総合工業論			
総合教養科目		哲学A/B 論理学A/B 倫理学A/B 宗教学A/B 日本史A/B 東洋史A/B 西洋史A/B 日本文学A/B 中国文学A/B 西洋文学A/B 芸術A/B 日本教育史A/B 法学A/B 日本国憲法 政治学A/B 経済学A/B 商学A/B 社会学A/B 教育論A/B 教育原論 地理学A/B 心理学A/B 文化人類学A/B 地球圏科学入門 新しい地球観 ミクロの生物化学 マクロの生物化学 自然科学入門 自然科学と人間 自然地理学 地球環境 生命・健康と医療 国際化と日本 科学・技術・情報と社会 文化と教育 現代を生きる (福大生のためのキャリアデザイン) アカデミックスキルゼミⅠ、Ⅱ (福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか)							
外国語科目		フレッシュマンイングリッシュⅠ、Ⅲ 第二外国語Ⅰ	フレッシュマンイングリッシュⅡ、Ⅳ	インターメディアイトイングリッシュⅠ 第二外国語Ⅱ	インターメディアイトイングリッシュⅡ	インターメディアイトイングリッシュⅢ インターメディアイトイングリッシュⅣ			
科体保 目育健		生涯スポーツ演習Ⅰ、Ⅱ							

建築学科の科目の関連表(令和2年度入学生:構造コース)

 必修
 選択必修
 選択

		1年次		2年次		3年次		4年次	
専門教育科目	構造・材料	建築構造概論	構造力学の基礎Ⅰ 構造力学演習Ⅰ	構造力学の基礎Ⅱ 構造力学演習Ⅱ	構造力学の基礎Ⅲ	構造計画 骨組の構造力学 コンピュータ構造解析法 鉄筋コンクリート構造の基礎 鉄骨構造の基礎 木質構造 建築材料性能計画	建築基礎構造 地震工学 建築構造設計演習 鉄筋コンクリート構造の設計法 鉄骨構造の設計法 建築構造演習・実験 建築材料実験	建築防災	
	歴史・意匠		造形実習Ⅰ	造形実習Ⅱ 意匠論Ⅰ	西洋建築史	近代建築史 意匠論Ⅱ	日本建築史		
	計画・設計	建築デザイン基礎Ⅰ	建築デザイン基礎Ⅱ 住宅計画	建築設計Ⅰ	建築設計Ⅱ	建築設計Ⅲ 都市計画	総合設計Ⅰ ランドスケープデザイン論 集住建築論 都市環境管理学	総合設計Ⅱ 地域計画	
	環境		建築環境工学概論	建築光環境	建築熱環境	建築音環境 空調調和設備	建築衛生設備		
	建築学概論	情報処理演習		建築キャリアデザイン	建築情報 建築CAD プログラミング基礎 測量実習	建築技術史 建築法規	建築学特別演習 建築実務演習 建築生産管理	卒業計画 技術者倫理	
工学共通科目	基礎	図学Ⅰ	図学Ⅱ						
		微分積分Ⅰ	微分積分Ⅱ	統計					
		行列と行列式Ⅰ	行列と行列式Ⅱ	力学C					
		力学A	力学B	物理学実験					
		化学A	化学B	化学実験			総合工業論		
総合教養科目	哲学A/B 論理学A/B 倫理学A/B 宗教学A/B 日本史A/B 東洋史A/B 西洋史A/B 日本文学A/B 中国文学A/B 西洋文学A/B 芸術A/B 日本教育史A/B 法学A/B 日本国憲法 政治学A/B 経済学A/B 商学A/B 社会学A/B 教育論A/B 教育原論 地理学A/B 心理学A/B 文化人類学A/B 地球圏科学入門 新しい地球観 ミクロの生物化学 マクロの生物化学 自然科学入門 自然科学と人間 自然地理学 地球環境 生命・健康と医療 国際化と日本 科学・技術・情報と社会 文化と教育 現代を生きる (福大生のためのキャリアデザイン) アカデミックスキルゼミⅠ、Ⅱ (福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか)								
	フレッシュマンイングリッシュⅠ、Ⅲ	フレッシュマンイングリッシュⅡ、Ⅳ	インターメディアイトイングリッシュⅠ	インターメディアイトイングリッシュⅡ	インターメディアイトイングリッシュⅢ	インターメディアイトイングリッシュⅣ			
	第二外国語Ⅰ		第二外国語Ⅱ						
外国語科目									
科体保 目育健	生涯スポーツ演習Ⅰ、Ⅱ								

建築学科の科目の関連表(平成31年度入学生:総合コース)

 必修
 選択必修
 選択

		1年次		2年次		3年次		4年次	
専門教育科目	構造・材料	建築構造概論	構造力学の基礎Ⅰ 構造力学演習Ⅰ	構造力学の基礎Ⅱ 構造力学演習Ⅱ	構造力学の基礎Ⅲ	構造計画 骨組の構造力学 コンピュータ構造解析法 鉄筋コンクリート構造の基礎 鉄骨構造の基礎 木質構造 建築材料性能計画	建築基礎構造 地震工学 建築構造設計演習 鉄筋コンクリート構造の設計法 鉄骨構造の設計法 建築構造演習・実験 建築材料実験	建築防災	
	歴史・意匠		造形実習Ⅰ	造形実習Ⅱ 意匠論Ⅰ	西洋建築史	近代建築史 意匠論Ⅱ	日本建築史		
	計画・設計	建築デザイン基礎Ⅰ	建築デザイン基礎Ⅱ 住宅計画	建築設計Ⅰ	建築設計Ⅱ	建築設計Ⅲ 都市計画	総合設計Ⅰ ランドスケープデザイン論 集住建築論 都市環境管理学	総合設計Ⅱ 地域計画	
	環境		建築環境工学概論	建築光環境	建築熱環境	建築音環境 空調調和設備	建築衛生設備		
	建築学概論	情報処理演習		建築キャリアデザイン	建築情報 建築CAD プログラミング基礎 測量実習	建築技術史 建築法規	建築学特別演習 建築実務演習 建築生産管理	卒業計画	技術者倫理
工学共通科目	基礎	図学Ⅰ 微分積分Ⅰ 行列と行列式Ⅰ 力学A 化学A	図学Ⅱ 微分積分Ⅱ 行列と行列式Ⅱ 力学B 化学B	統計 力学C 物理学実験 化学実験		総合工業論			
総合教養科目		哲学A/B 論理学A/B 倫理学A/B 宗教学A/B 日本史A/B 東洋史A/B 西洋史A/B 日本文学A/B 中国文学A/B 西洋文学A/B 芸術A/B 日本教育史A/B 法学A/B 日本国憲法 政治学A/B 経済学A/B 商学A/B 社会学A/B 教育論A/B 教育原論 地理学A/B 心理学A/B 文化人類学A/B 地球圏科学入門 新しい地球観 ミクロの生物化学 マクロの生物化学 自然科学入門 自然科学と人間 自然地理学 地球環境 生命・健康と医療 国際化と日本 科学・技術・情報と社会 文化と教育 現代を生きる (福大生のためのキャリアデザイン) アカデミックスキルゼミⅠ、Ⅱ (福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか)							
外国語科目		フレッシュマンイングリッシュⅠ、Ⅲ 第二外国語Ⅰ	フレッシュマンイングリッシュⅡ、Ⅳ	インターメディアイトイングリッシュⅠ 第二外国語Ⅱ	インターメディアイトイングリッシュⅡ	インターメディアイトイングリッシュⅢ	インターメディアイトイングリッシュⅣ		
科体保 目育健		生涯スポーツ演習Ⅰ、Ⅱ							

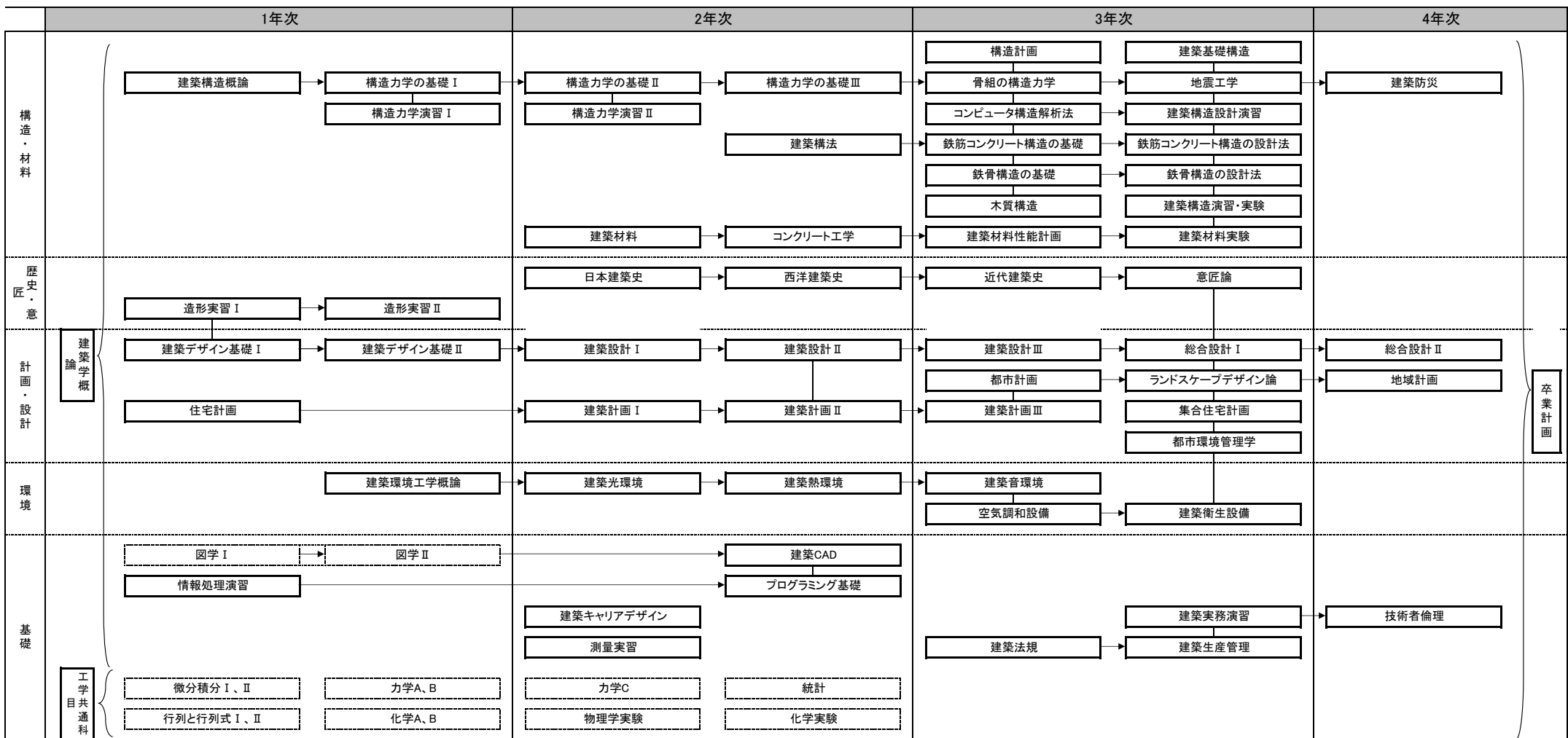
建築学科の科目の関連表(平成31年度入学生:設計・計画コース)

 必修
 選択必修
 選択

		1年次		2年次		3年次		4年次	
専門教育科目	構造・材料	建築構造概論	構造力学の基礎Ⅰ 構造力学演習Ⅰ	構造力学の基礎Ⅱ 構造力学演習Ⅱ	構造力学の基礎Ⅲ 建築構法	構造計画 骨組の構造力学 コンピュータ構造解析法 鉄筋コンクリート構造の基礎 鉄骨構造の基礎 木質構造 建築材料性能計画	建築基礎構造 地震工学 建築構造設計演習 鉄筋コンクリート構造の設計法 鉄骨構造の設計法 建築構造演習・実験 建築材料実験	建築防災	
	歴史・意匠		造形実習Ⅰ	造形実習Ⅱ 意匠論Ⅰ	西洋建築史 意匠論Ⅱ	近代建築史	日本建築史		
	計画・設計	建築学概論	建築デザイン基礎Ⅰ 住宅計画	建築デザイン基礎Ⅱ 建築計画Ⅰ	建築設計Ⅰ 建築計画Ⅱ	建築設計Ⅱ 建築設計Ⅲ 都市計画	総合設計Ⅰ ランドスケープデザイン論 集住建築論 都市環境管理学	総合設計Ⅱ 地域計画	
	環境		建築環境工学概論	建築光環境	建築熱環境	建築音環境 空調調和設備	建築衛生設備		
	基礎		情報処理演習	建築キャリアデザイン	建築情報 建築CAD プログラミング基礎 測量実習	建築技術史 建築法規	建築学特別演習 建築実務演習 建築生産管理	技術者倫理	卒業計画
工学共通科目	基礎	図学Ⅰ 微分積分Ⅰ 行列と行列式Ⅰ 力学A 化学A	図学Ⅱ 微分積分Ⅱ 行列と行列式Ⅱ 力学B 化学B	統計 力学C 物理学実験 化学実験			総合工業論		
総合教養科目		哲学A/B 論理学A/B 倫理学A/B 宗教学A/B 日本史A/B 東洋史A/B 西洋史A/B 日本文学A/B 中国文学A/B 西洋文学A/B 芸術A/B 日本教育史A/B 法学A/B 日本国憲法 政治学A/B 経済学A/B 商学A/B 社会学A/B 教育論A/B 教育原論 地理学A/B 心理学A/B 文化人類学A/B 地球圏科学入門 新しい地球観 ミクロの生物化学 マクロの生物化学 自然科学入門 自然科学と人間 自然地理学 地球環境 生命・健康と医療 国際化と日本 科学・技術・情報と社会 文化と教育 現代を生きる (福大生のためのキャリアデザイン) アカデミックスキルゼミⅠ、Ⅱ (福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか)							
外国語科目		フレッシュマンイングリッシュⅠ、Ⅲ 第二外国語Ⅰ	フレッシュマンイングリッシュⅡ、Ⅳ	インターメディアイトイングリッシュⅠ 第二外国語Ⅱ	インターメディアイトイングリッシュⅡ	インターメディアイトイングリッシュⅢ	インターメディアイトイングリッシュⅣ		
科体保 目育健		生涯スポーツ演習Ⅰ、Ⅱ							

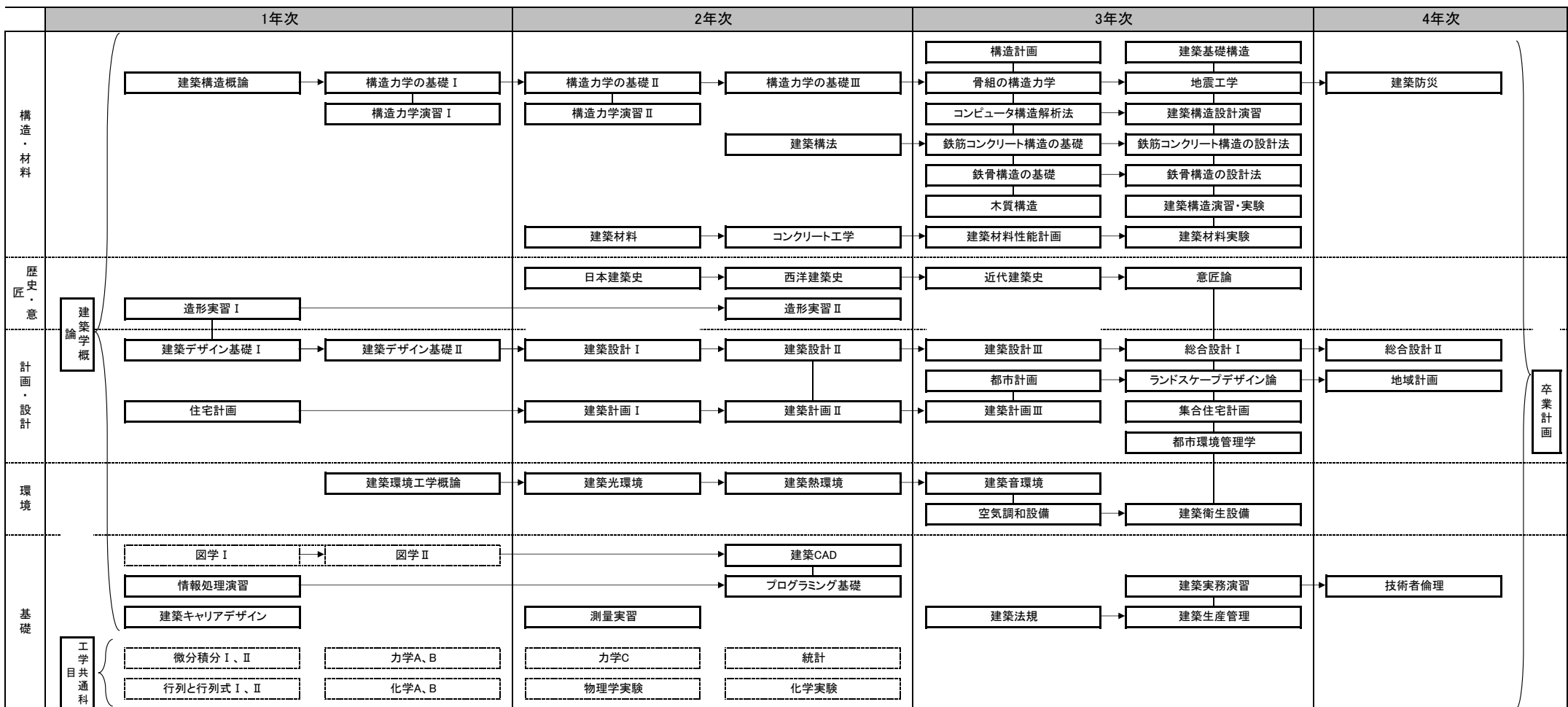
建築学科の科目の関連表(平成31年度入学生:構造コース)

 必修
 選択必修
 選択



建築学科の科目の関連表(2015年度入学生)

必修
 選択必修
 選択



建築学科の科目の関連表(2013年度、2014年度入学生)

 必修
 選択必修
 選択